



ししふんじん
～獅子奮迅 燃えあがれ 熱き野生の心～

2021 体育祭を開催しました！！



10月8日(金)、青空の下、体育祭を開催しました。学年+PTAでの4チーム対抗で競技を行いました。競技では、新種目の1メートルの巨大バトンを使ったリレーをはじめ、高校生の元氣あふれるプレーや、PTAのパワー全開の綱引きなど、様々な競技を行いました。また、能勢小学校4年生と高校生の交流競技『障害物競走』では、小学生全員が次々と障害物を越え、最後の障害物、高校生とのじゃんけんゲームでは高校生に勝ってゴールし、白熱したレースとなりました。午後は各チームの工夫がこらされた応援合戦で盛り上がり、体育館でのソフトバレー、アルティメット競技で締めくくりました。熱気に包まれた一日となりました。



能勢小4年生と高校生が交流

第19回 能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育 研究発表会が開催されました

10月29日(金)、「第19回能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育研究発表会」が能勢ささゆり学園にて開催されました。『グローバル人材の育成』をテーマに、「健康と運動」「グローバル能勢」「グローバル英語」「環境」の4つの公開授業を行いました。「健康と運動」の体育の授業は小学生、「グローバル能勢」の理科の授業では中高生、「グローバル英語」では小中高生、ALT、高校の留学生が共に授業を行いました。

特に、「環境」がテーマの小中高生授業では、事前に高校生が小中学校で「ゼロカーボンタウン能勢」についての授業を行い、学びを深めてきました。ゼロカーボンタウンの実現、地球温暖化の抑制に向け、能勢町民のひとりとしてそれぞれができることは何かを、小中高生が共に考え、意見を交換しました。

当日は能勢町内の教員をはじめ、町内外からの教育関係者の方々が授業を参観され、オンラインで参加の方もありました。

これからも学校の垣根を超えた、能勢町の地域活性と課題解決についての学びは続きます。



総会で能勢分校生が発表



『環境』の授業でグループワーク

地域魅力化クラブ

地域の魅力を広めることを目的に、昨年度スタート。今年は交通課題解決や地域のエネルギー問題解決など、幅広く活動しています。

●e-bike プロジェクト● 東京大学ほか、国際交通安全学会との共同研究です。能勢分校生が交通課題の解決、環境問題解決をめざすものです。全生徒に交通課題、環境問題に関するアンケート実施することから始まりました。能勢町の自転車屋さんのアドバイスのもと、10台のe-bike(電動アシスト付き自転車)を12人で活用する実証実験を行っています。東京大学、大阪大学や大阪市立大学の先生方のご指導のもと、e-bikeのカメラとコンピュータを装着し、データを取得していきます。このプロジェクトが、能勢町での課題解決のみならず、全国各地の課題解決にも役立つことを期待します。

●能勢カフェ巡り● 能勢町にあるカフェへの取材も昨年度から引き続き行っています。1年生の部員にとっては初めての取材となり、上級生も含めて毎回ドキドキの取材活動です。

●豊中市民エネルギーの会発表● 豊中市民エネルギーの会が主催(豊中市・能勢町後援)の環境フォーラムに地域魅力化クラブの3年生が参加しました。豊中市民を中心に約80人の参加があり、地域魅力化クラブの活動の紹介ののち、能勢町のめざしている「ゼロカーボンタウン」についての発表を行いました。



e-bikeに乗って



カフェ「MIGIWA」にて



豊中市民エネルギーの会での発表

里山留学プログラム

●チーム SATOYAMA●

里山留学生3名と自宅通学生徒2名がチームを組み、能勢高校SGHでの先輩方の学びを踏まえ、能勢の伝統産業「銀寄栗」と「菊炭」を中心に学び、実践活動を通して持続可能な能勢の環境保全を考えていきます。フィールドワークを通して自然豊かな能勢を体験するなど、能勢の環境保全を次世代につなぐ取り組みを行っています。能勢町の「里山留学生制度」に関するプログラムであることから、地域の方々、能勢町行政の方々、地域おこし協力隊、本校卒業生のサポートのもと、プログラムを進めています。本活動は、能勢町の広報『11月号』の表紙および中面に紹介されています。この活動は環境省主催の「全国ユース環境活動発表大会」で発表し、全国に向けて発信します。



栗農園にて



菊炭の里にて



里山で植林を終えて

能勢町×能勢分校連携講座を開催しました！

能勢町では若い世代が地域で活躍し、将来にわたって地域の未来をつくる人材のサイクルを生み出すことをめざしており、能勢分校との連携協力を進めています。

今年も多岐にわたる分野から講師をお招きし、「能勢町×能勢分校連携講座」を開催しています。これからの社会像や地域の持続可能性について、地域の皆さんと共に考えます。

第1回 10月19日(火) テーマ:『(株) 能勢・豊能まちづくりの挑戦』

講師:榎原 友樹氏(株式会社 能勢・豊能まちづくり代表取締役)

世界での気候変動、エネルギー問題から始まり、昨年、能勢町・豊能町と共に新電力会社を作ったきっかけや、これから地域でどんな活動をしていきたいかをお話されました。講義の後はグループに分かれ、『能勢分校を分析しよう』をテーマにワークショップを行いました。学校の未来のために何をしたらよいか、アイデアを出し合いました。「失敗してもいい。できることから始めよう」の言葉は、学校だけでなく、これから地域のために自分たちができることは何かを考えていく上で重要であると感じました。



第2回 10月26日(火) テーマ:『地域に根差した学びと行動』

講師:北村 友人氏(東京大学 教授)

北村先生は大学時代にバングラデシュの小学校を支援する NGO の活動に参加したことをきっかけに国際協力への道をめざし、現在は、ESD(持続発展教育)実現に向けて研究をされています。講座では、SDGsの意義と実現性についてわかりやすくお話いただきました。

また、パリのユネスコ本部で働かれた経験もあり、本校がユネスコスクールでもあることから、ユネスコスクール活動についてもお話いただきました。講義の中で「能勢での SDGs とは？」と問いかけがあり、地域での SDGs を考えるきっかけとなりました。



能勢町×能勢分校連携講座【今後の予定】

第3回 11月29日(月) 講師:川又 孝太郎氏(環境省)

テーマ:『能勢版シュタットベルケと脱炭素社会』

第4回 12月14日(火) 講師:神出 計氏(大阪大学 教授)

テーマ:『健康で安心して暮らせる地域づくり』

第5回 1月28日(金) 講師:千葉 知世氏(大阪府立大学 准教授)

◎どなたでもご参加いただけますが、事前に能勢町総務課もしくは能勢分校まで電話で予約の上、お越しください！みなさんと能勢町の未来について考えましょう。

連絡先 能勢町総務課: TEL 072-734-3036 能勢分校: TEL 072-737-0666

課題探究GS(グローバルスタディー)の最終発表会が行われます。高校生3年生による1年間の研究成果をご覧ください。

12月24日(金):3年課題探究GS最終発表会 場所:能勢中学校体育館

※当日は申込制となります。詳細は能勢分校ホームページでご確認ください。

能勢分校に

続々と留学生が来ています！

10月、11月に3人の留学生が来日、能勢分校生と勉強しています。オヨンさん(バングラデシュ)、パーヴィさん(カンボジア)、ラットナー宙希さん(ドイツ)です。また、イタリアに長期留学中の1年生の大城さんからも便りが届いています！



バングラデシュ

令和3年10月～令和4年3月
オヨン(Gazi Ayon Rahman)さん



みなさん こんにちは。ぼくは オヨン です。バングラデシュから来ました。ぼくは 16 さいです。ぼくは 1 年間の ぶんが や せいかつようしを まねびに とよはが ころころの りゅうがくせいとして にほんに きました。ぼくの けいけんは、とても ちがう あるものです。たのしいべんきょうです。



カンボジア

令和3年11月～令和4年3月
パーヴィ(Pechsophavy Nuon)さん



みなさん、こんにちは！パーヴィです。カンボジアから来ました。17さいです。Asia Kakehashi Projectのこうかんりゅうがくせいとしてがっでんきょうたり、日本人となつせんたり、日本人がたんきょうたり、くにをいうかいしたりするたのみにここにきてよかったです。😊



ドイツ

令和3年11月～12月
ラットナー 宙希(ヒロキ)さん

イタリア長期留学生 大城小春さんからの便り



イタリアに来て2ヶ月が経ちました。イタリアは冬になり、夜の時間がとても長く寒くなってきました。イタリア語は簡単な日常会話が少しずつですがわかるようになりました。私はノーヴァ・ミラネーゼというミラノ郊外の街に住んでいます。学校へ40分ほどバスに乗り、セレーニョという街まで通っています。学校は中高一貫校で、私は人間科学科のコースの2年生です。クラスは28人位で、女子高ではありませんが、全員女の子です。英語と数学はイタリア人生徒と一緒に授業を受けています。

私のホストファミリーはパパとママ、お姉さんと妹が1人ずつの4人家族です。近くにはいとこやおばあちゃん、おじいちゃんも住んでいます。姉妹とは趣味が似ているので、一緒に絵を描いたり、運動をしたりして楽しんでいます。

ホストファミリーと一緒に

